

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月19日		記入者	内線	3216
部 名	土木部	課 名	道路管理課	課長名	淡野 浩
事務事業名	道路占用物件(突出看板)適正化事業				
予算上の事務事業名	突出看板申請適正化事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		24120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第1節 魅力ある都市景観の形成			事業開始年度	
施 策 名	第2施策 魅力ある都市空間の創造			平成10年度 ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
道路法第32条 屋外広告物法、相模原市屋外広告物条例第7条					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分		指導・規制・許認可 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
道路上空に設置された、無許可の突出看板の占用手続を指導し、占用料を徴収する。 また、不適合物件の除去指導及び適正化を推進する。				看板掲出者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
適正化指導を行うための資料を作成するために、市内の市街地の掲出状況調査を実施し、物件状況調査及び台帳を作成した。 調査件数：2,220件					
6 関連・類似事業や他市の状況					
路上違反広告物撤去業務					
7 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	0	15,182	170	1,700
一般財源	0	0	0	170	1,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	15,182	0	0
人件費の合計	0	0	0	1,025	10,733
事業コスト合計(a)	0	0	15,182	1,195	12,433
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	突出看板申請適正化事業			対象名称 (単位)	申請件数 平成16年度は調査件数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	0	15,182	1,195	12,433
対象数	0	0	2,220	80	240
単位あたり経費(円)			6,839	14,938	51,804
前年度比				2.18	3.47

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	適正化指導率		指標式と指標の説明	適正化指導件数÷計画指導件数×100 平成17年度以降指導件数=300件	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	33.0	100.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	申請率		指標式と指標の説明	申請件数÷目標申請件数×100 目標申請件数=計画指導件数×8/10=240件	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が悪い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		道路占用の適正化を図る、今年度から開始する事業であり、特財の確保にもつながることから積極的な推進を図りたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 専任の人員の確保及び指導体制の充実			14 課題として認識されたこと 再任用職員の活用		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			